

## 平成 19 年度 第 4 回理事会議事録

期 日 平成 20 年 4 月 20 日 ( 日 ) 11:00 ~ 12:00

場 所 (株)開発工営社会議室

出席数 理事 24 名の内、出席 22 名、欠席 2 名

### 議 事

#### 1 . 平成 19 年度会計決算報告について

- ・ 会計担当理事より、「平成 19 年度 会計決算書」に基づき決算の報告があった。今年度収支は 120 万円の赤字となっているが、これは会費収入の減少、有料試合の赤字が主な原因となっている。
- ・ チーム数減少による登録料及び大会参加料の減少についての状況説明があった。
- ・ 有料試合の収支決算書について説明があった。収支決算は赤字となったが、要因としては、従前からあった関東協会補助金としての横幕広告料が受けられなくなったこと、チケット収入が少なかったことが説明された。
- ・ 会計監事より、会計監査報告あり会計処理が適性に行われていることが報告され、平成 19 年度の収支決算が承認された。

#### 2 . 特認理事について

- ・ 理事長より、特認理事の配置について説明があった。
- ・ 特認理事の専掌業務は、課題となっている財務と、関東協会に新設された中学部門対応とする。特認理事は財務担当が千歳ラグビーフットボール連盟副会長 中島 勝己氏、中学担当が北嶺中・高校部長 下はざ 次郎氏とすることが提案され、承認された。
- ・ 特認理事の配置に対する規約改正については、「北海道ラグビーフットボール協会規約第 5 条」において、その他の役員を置くことができるようになっていることから規約の改正は必要ないことが確認された。
- ・ 特認理事は、決議に加わることはできないものとする。
- ・ 特認理事の任期は、関東協会に準じ 1 年とし、必要に応じて更新を行い、専掌業務の終了により配置を解くものとする。
- ・ 中学担当の特認理事は、関東協会の中学委員会の組織変更が予想されることから、それに伴って見直していく。

#### 3 . 役員改選について

- ・ 庶務担当理事より、各支部から支部選出理事の改選報告がなかったことが報告された。

#### 4 . その他

##### (1) 北海道選手権大会の組み合わせについて

- ・ 競技委員長より、洞爺湖サミットに関連して、参加チームの宿の確保が困難となるため例年より早く組み合わせを決めてほしいとの要望が参加チームからあったため、対応を早急に行うとの報告があった。

(2) 特別委員会の答申について

- ・ 特別委員会の答申についての協議は、今回の理事会で行う予定であったが、時間が取れないことから、改めて理事会を開催して行うことが確認された。

(3) 北海道の重症事故の分析・問題点について

- ・ メディカルソサエティ委員長より、北海道の重症事故の分析及び問題点について、資料を基に説明があった。
- ・ 北海道の地域特性として、シーズンのピークが7月初旬に開催される北海道選手権大会にあること、7,8月は本州からの合宿遠征が多いこと、最近では7,8月は本州並みに暑いことなどが紹介された。

(4) 野幌グラウンドの改修について

- ・ 門脇理事（札幌支部理事長）より、野幌グラウンドの改修について報告があった。
- ・ 野幌グラウンドの改修を、札幌支部社会人・クラブチームの個人からの資金によって行うことになった。野幌グラウンドの改修については、従前から管理事務所に北海道協会で行うことも含め要請していたができなかったが、道の施設管理も指定管理者制度が導入され変化が現れ、今回、札幌支部との協議により改修するようになった。

(5) 会長・副会長人事について

- ・ 理事長より、会長、副会長について以下の人事案が提出された。
- ・ 会長は、杉目泰郎会長の逝去より会長代行となっていた蓑口 一光 副会長の昇任の人事案について承認された。
- ・ 副会長は、藤江 正 副会長が本人からの体調不良による退任の申し出を受けて、函館支部の米田 國三郎 支部長の就任の人事案について承認された。また、藤江 正 前副会長は顧問として残ることが承認された。

以上